

2023（令和5）年度

3月3日 [○]

国 語

注意

- 1 開始の合図があるまでは、開かないこと。試験時間は、六十分である。
- 2 問題は声を出して読まないこと。
- 3 問題用紙は二十三ページ、、の二題から成っている。
- 4 問題用紙および解答用紙に、落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがある場合は、手をあげて監督者に申し出ること。ただし、**内容に関する質問は受けつけない。**
- 5 解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、**解答用紙に記入すること。**
- 6 解答はすべてマーク式の解答欄①②…を丁寧に塗って解答すること。
- 7 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消すこと。**
- 8 解答に関係のない符号（?レなど）や文字は記入しないこと。
- 9 解答用紙を折ったり、汚したりしないこと。

一  
次の文章は、清水知子著『ディズニーと動物 王国の魔法をとく』の一節である。文章を読んで、後の問に答えなさい。

グリム童話では、小人たちの室内空間は食器もベッドもきちんと整っていた。では、なぜ小人の小屋にたどりついた白雪姫が最初に目に留めるのは窓の埃であり、汚れた食器であり、部屋のあちこちにめぐらされたクモの巣なのか。そう、ディズニーがあえて小人たちの部屋を<sup>(ア)</sup>チラチラさせたからである。それはつまり、白雪姫が理想の家庭<sup>(ホム)</sup>を実現し、動物たちとともに掃除にとりかかるためだ。

掃除、洗濯、料理——。なるほど、白雪姫は小人たちの小屋に泊めてもらうかわりに、動物たちとともに率先して家事労働に取り組む。白雪姫は「できる女」と「かわいい女」<sup>(イ)</sup>をかね備えた理想的な主婦の神話を体現しているように見え、この光景は、しばしばフェミニズムの視点から批判されてきた。男女ともに喜んで働くこの場面は当時の共産党からも絶賛されたと言われるが、じつさいこの光景が、第二次世界大戦から帰国した男たちを家庭に迎え入れる主婦像のモデルと化し、王子の所有する「家」のなかでステレオタイプ化されたジェンダーの役割を再生産することになった点は否定できない。

しかし、同時にここで注目したいのは、白雪姫が森の動物たちを取り仕切る指導的な役割を担っていること、それどころか主たる労働は動物が担っていることである。というのも、この場面は、家事労働の分業化、再組織化、そして外在化<sup>(アウトシンク)</sup>を特徴とする新しい家政学が広がった一九世紀半ばのアメリカにおける社会改革の意識を想起させるからである。『家庭経済論』や『アメリカン・ウーマンズ・ホーム』<sup>(ウ)</sup>をシッピツし、新しい家政学を生み出したキャサリン・ビーチャーを思い出そう。彼女は、家事労働を通じた女性の地位向上を目指し、奴隷を使わない家事を主張した。もちろん現代から見れば、私的領域において無償で家事労働を担うジェンダー化された女を象徴していると指摘できよう。しかしそれは当時、清教徒的な道徳観と科学的原理——家事労働のシステム化・合理化・能率化——に裏打ちされた、家庭という空間を支配する女性の解放を意味する、もうひとつのフェミニズムでもあった。

さらにこの場面からは、二〇世紀初頭から急速に欧米社会で高まった衛生化、殺菌をめぐる漂白意識——病原菌ゼロを目指

す潔癖ブームないし清潔空間志向——を読み取ることもできる。これについては、ディズニーに対して「すべてがクリーンに洗淨された世界」であると指摘したりチャード・シッケルとともに、第二次世界大戦期の公衆衛生 I として『白雪

姫』の小人たちが使われたことを想起すれば十分だろう。一九二〇年代、アメリカの家庭では電化製品が急速に広まり、一九三〇年代から六〇年代にかけて家事の電化<sup>II</sup>ロボット化が進行する。いわゆる「アメリカ的生活様式」は、冷蔵庫、皿洗い機、洗濯機、家用車、ラジオ、蓄音機が普及する「ポピュラーサイエンスの時代」において急速に「漂白意識」が高まっていく。

このようにみえてくると、白雪姫はたんに家事労働に勤しむ少女ではなく、一九世紀の画期的な家政学と二〇世紀初頭のきわめてモダンな光景を同時に想起させる少女だったと言えるのではないか。

加えて、ここでもうひとつ注目すべき点は、この牧歌的かつ理想的なコミュニケーションが動物と人間をへだてる境界を消失しているかのように描き出されていることだ。一見すると、動物たちは愉快なリズムにのって愉しげに皿を洗い、床を掃き、洗濯をこなしているように見える。しかし、陽気なコメディ形式で描き出されたこの場面には、じつは動物と人間をへだてる境界が巧みに描き込まれている。

そもそも動物たちが小人の家に入るのは白雪姫と一緒にいるときだけである。またよく見ると、箒を使う白雪姫とは対照的に、動物たちはじかにその身体を使って埃や汚れを体内に取り込んでいく。

森の動物たちは、実物を参考にしつつも、愛らしく

## II

され、自立した存在というより、姫を慕い、人間のニーズ

に快く応じる子どものような存在として描き出されている。同じことは小人たちにもあてはまる。彼らは少なくとも、史実としては小人であるがゆえに集落から追放されたものたちである。しかし小人たちは、それぞれの名前に象徴される個性をもち、「ハイホー」のリズムにのって炭鉱にダイヤモンド掘りに出かける。彼らは労働する男たちのようでありながら、しかし同時に白雪姫を母のように慕い、彼女に諭され、清潔さを説かれる子どものもうでもある。白雪姫が善良な印象をもたらしているとすれば、それは、彼女が理想的な母<sup>III</sup>主婦像を軽々と演じるだけでなく、白雪姫が物語のなかで唯一動物たちと心を通わすことができ、しかも人間として動物や自然に対して X ことができるという、人間にとって理想的な異種協働の世界

が描き出されているからではないだろうか。

イタリアの思想家ジョルジョ・アガンベンは、人間が自らを他の動物と区別して認識するメカニズムを「人類学機械」と呼んだ。この機械は、人間／動物、人間／非人間という対比によって人間を規定しようとするものだ。ただしそれは、つねに排除と包摂によって作動する「未確定の領域」<sup>B</sup>、いわば「一種の例外状態」を抱え込んでいるという。この領域はじつさいには空洞で、たえず新たに転位されると同時に、動物たちが「自己自身から分断され排除された剥き出しの生」として「不気味なかたち」で現れてくる裂け目でもある。

デイズニー映画の場合、この「不気味なかたち」は「コメディティ・フェティシズム」という点から考えることができる。たとえば今日広く愛されているテディ・ベアを思い出そう。テディ・ベアと言えば、狩猟を趣味とし、野生と自然の栄華と勇壮さを語ることに自身の名を貸したルーズベルト大統領とアメリカ自然史博物館との密接な関係を思い出す者も多いだろう。

この「偉大なる白人ハンター」と白人男性の主体の形成との深い結びつきについては、『バンビ』を扱う第四章で見ていくことにし、ここでは、そうした帝国主義的な視座やマスキュリニティの問題ではなく、デイズニーの『白雪姫』に透けて見える一九三〇年代の残滓が、アメリカ、動物、女性の表象とどのように接続しているのかという点に目を向けてみたい。

テディ・ベアは子ども部屋の装飾に決定的な変化をひきおこした。だが、このクマのぬいぐるみに求められるのは野生動物のリアルさではない。おもちゃとしてのぬいぐるみはその野性を削ぎ落とし、鋭い爪や牙、性的器官など、所有者である中産階級の子どもたちを脅かすことがないよう変身を余儀なくされているからだ。ぬいぐるみの動物たちに働くこの馴化の論理は、擬人化という近代の叙述法の歴史——<sup>(a)</sup>物理的に消滅していった動物を人間が文化的に記録していくプロセスの展開——と深く結びついている。ぬいぐるみとは、人間が自らを規定するために産出し、にもかかわらず、動物とのあいだに再び調和をつくりだそうと試みた現代社会の「部分的なトータル装置」<sup>注2</sup>であり、<sup>(b)</sup>人間の夢と欲望の詰め物<sup>(c)</sup>なのだ。

『白雪姫』に登場する森の動物たちは、それぞれの動物の習性を組み込みつつ、<sup>(d)</sup>このおもちゃの論理を備えているように思われる。彼らは、メアリ・ダグラスが『汚穢と禁忌』で言うように、<sup>(d)</sup>既成の人間社会の秩序、政治的構造への脅威や汚れを象

徴する存在ではなく、人間を脅かすどころか、城から逃亡した姫の生を刷新する役割を担っている。この意味で、動物たちの暮らす深い森は、「死」と「再生」の理念を象徴する異世界の舞台であると同時に、人間の優位性と動物との境界を保持しつつ、しかしその境界を取り消したいという人間の切な欲望を叶えるファンタジーの舞台として機能している。

ロマン主義以後、自然は資本主義的な価値を理論的に支え、そしてまたそれを掘り崩すものとして使われてきた。哲学者テイモシー・モートンが言うように、わたしたちが自然と呼んでいる「もの」は、ロマン主義時代の発明であり、それ以後、世界から切り離され、Y は、つねに客体との融和をのぞみ、自然は近代社会が損傷させたものを治癒する方法になった。

言い換えれば、白雪姫と善良な森の動物たちとの親和的関係は、西欧社会の歴史的な野性との分離（とその隠蔽）を背景にして逆説的に感情的に再発明されたものである。それゆえ、白雪姫が小人や動物たちと過ごす森のなかのクロノトープにこそ、グリムにはないデイズニーならではの「ワイルド・センチメント」の核心をなす独自のひねりが隠されていると言えよう。

こうして、デイズニーは古くから語り継がれるドイツのおとぎ話をモダンで「民主的」な家庭を象徴するアメリカのおとぎ話へと変貌させた。ここでは小人や動物たちが暮らすドイツのノスタルジックな室内空間は、アメリカ的な家政学が教示される空間として提示され、同時に人間と動物との境界が魔術的に解消される「ワイルド・センチメント」によって独自のファンタジーの世界が展開することになる。また、姫と魔女という分裂した女の物語も自然や動物に彩られた善悪の論理によってスクリーンに描き直される。<sup>注5</sup> 女という「不在」のスペクタクルは、このようなデイズニーならではの野生の論理とパラレルにあってスクリーンに映し出されているのだ。人間社会から放擲され孤児的な境遇に陥った姫は自然界と手を組んで成長し、王子のキスによって目を覚ます。すると姫は小人と動物たちを森に残して晴れやかな笑顔で高くそびえ立つ城へ王子と戻る。小人と動物たちはそれが当たり前前であるかのように祝福して二人を見送り、そして魔女は自然界の成り行きによって崖から転落する。

もちろん、おとぎ話とは何よりもまず「変容の可能性」を示してくれるものだ。そして物語はつねに語り手と聞き手の双方によってつくられる。それゆえ、おとぎ話のハッピーエンドは、読者／観者の手に委ねられた、よりおおいなる物語のはじまりにすぎない。

しかし、『白雪姫』に描き出された自然や動物と女たちの関係を徴づける「ワイルド・センチメント」とそれによる善悪の論理は、『シンデレラ』や『眠れる森の美女』をはじめとするディズニー映画のなかで、その後も幾度となく反復されていくことになる。

この意味で、『白雪姫』はディズニー映画のⅢ的存在と言えるのではないだろうか。そして、姫と魔女のエコロジ―とも呼びうるこの構造にこそ、わたしたちは現在にいたるディズニーならではのおとぎ話の論理を読みとることができるのである。

(出題の都合上、一部中略・改変した箇所がある。)

注 1 マスキュリニティ——男らしさ、男性性。

2 トーテム——ある社会集団が、自分たちと血縁関係のある祖先として信仰の対象とする、特定の動物や植物のこと。  
例えばアジアの諸民族にはトラをトーテムとするものが多い。

3 クロノトープ——文学作品における時間と空間の構成。

4 ワイルド・センチメント——自然と動物を情緒的に描くディズニー作品に特徴的な手法。

5 女という「不在」のスペクタクル——『白雪姫』の姫と魔女が歌声とまなざしで描かれている場面が多いことや、ディズニー映画における女性キャラクターは、主人公であっても脇役の男性キャラクターよりもセリフが少ないという状況を筆者がこのように称している。

問一 傍線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字に改めた場合、それと同じ漢字を含む選択肢を次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

(ア) チらかし

- 1 サンバシから乗船する
- 2 カンサンとした町の風景
- 3 すさまじい戦争のサンカ
- 4 開発費のサンダンがつく
- 5 数々のシンサンをなめる

(イ) カね

- 1 レンズをケンマする
- 2 ケンヤクして書籍を買う
- 3 公職をケンニンする
- 4 保守的な考えをケンジする
- 5 雑誌のケンシヨウに応募する

(ウ) シツピツ

- 1 シツジュンな気候の地域
- 2 シツコクの闇に包まれる
- 3 バイクが道路をシツクする
- 4 二国間にカクシツが生じる
- 5 単純なミスをシツセキする

(エ) へダてる

1 カツカ搔痒の思いが残る

2 駐車をカクチョウする

3 中央省庁のガイカク団体

4 チカク変動が観測される

5 水産資源をランカクする

問二 空欄

I

)

III

に入る語として最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号

を答えなさい。なお、一つの語は一回しか用いてはならない。

1 パラドックス

2 デフォルメ

3 プライオリティ

4 リアリティ

5 ペダンティック

6 プロバガンダ

7 ネガティブ

8 プロトタイプ

9 リサイクル

10 インセンティブ

問三 傍線部(あ) 牧歌的の意味として最も適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 人の手が加えられていない

2 洗練された姿の

3 憂いを感じさせない

4 素朴で抒情豊かな

5 神の教えにかなった

問四 傍線部 A フェミニズム とあるが、ここでのフェミニズムに関する議論によると、ディズニー作品の『白雪姫』はどの

ように捉えられるか。その説明として最も適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 女性を家事労働の主体に据えるという典型的かつ文化的な性的分業を描いている点では批判的に見ているが、家事労働の効率的かつ主導的な担い手として女性を描く点では評価している
- 2 掃除などの家事労働を小屋に泊めてもらう代償として提供するという主体的な女性像が絶賛されただけでなく、新しい家政学の広がりを受けて描きだされた女性像だとしてポジティブに捉えられている
- 3 かつて神話の中には存在したような外見的にも能力的にも優れた女性を現代における主婦のモデルとして描いた点を批判しつつも、家庭という空間を支配する女性の解放を描いている点については肯定的である
- 4 グリム童話の原作にはない要素を組み込み理想の家庭ホームを描こうとした点は、戦争からの帰国者を迎え入れるという時代から許容しているが、私的領域における女性の無償労働を温存する描き方には否定的である
- 5 従来 of 男女の社会的役割を強化するような作品全体の作りは批判的に見ているが、家事労働の合理化や能率化、当時隆盛しつつあった清潔空間志向などを推進する役割を担った点は女性の解放につながるとみなしている

問五 空欄

X

Y

に入る表現として最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

X 1 離反と密接との絶妙なバランスを示す

2 よい影響を与え合う良好な間柄である

3 その保護者であるかのように振る舞う

4 ストレスを与えつつも従属させてしまう

5 優位性を保ったまま親和的な関係を築く

Y 1 疎外された主体としての人間

2 自然の実体の一部と化した我々

3 世界の解体を選択したわたしたち

4 身体と精神の分離に直面した人々

5 種々の生命体の一つでしかないヒト

問六 傍線部B 未確定の領域 とあるが、問題文中で波線を付した(a) (e)の語句のうち、この「領域」に存在しないものの組み合わせとして適切なものを次の選択肢の中から選び、その番号を答えなさい。

- (a) 物理的に消滅していった動物
- (b) 人間の夢と欲望の詰め物<sup>スタック</sup>
- (c) 『白雪姫』に登場する森の動物たち
- (d) 既成の人間社会の秩序
- (e) 動物たちの暮らす深い森

- 1 (a) と (b)
- 2 (a) と (d)
- 3 (b) と (c)
- 4 (c) と (d)
- 5 (c) と (e)

問七 次の文章は筆者が同書の別の箇所です。「ワイルド・センチメント」について説明したものである。この文章も参考にして、

傍線部C デイズニーならではのおとぎ話の論理の説明として最も適当なものを後の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

なかでもより興味深いのは、デイズニー映画の結末である。グリム童話では、魔女は火の中で熱した鉄の靴を履かせられ、踊り狂って息を引き取るという残酷な仕返しと復讐ふくしゅうによって物語の幕が閉じる。しかし、デイズニー映画では、魔女はあたかも自然の摂理せつりないし不慮の事故のように、落雷によって崖から転落し、死を象徴する二羽の禿鷹はげたかがその光景をあざ笑うかのように見届ける。観客はあたかも「自然」の成り行きで悪が退治されたかのようにこの物語の結末を受け取り、白雪姫と王子が自身の手を汚すことはない。魔女は偶然にも転落し、二人はハッピーエンドを迎えるというわけだ。

- 1 西欧社会が野性から分離されてきたこととその隠蔽を背景に、自然や動物を物語の彩りとして活用するという論理
- 2 何らかの意味を付与された自然や動物を物語に配置して、悪意の要素を和らげながら勸善懲悪を描くという論理
- 3 家政学的な要素を取り入れつつ、善悪の論理に貫かれたモダンで「民主的」なアメリカの家庭を描くという論理
- 4 人間社会からの放擲や不幸な境遇を描きつつも、最終的には「変容の可能性」を示して物語を終えるという論理
- 5 「不在」を特徴とする女性を主人公に据え、善の勝利によってハッピーエンドを迎える物語を反復していく論理

問八 本文の内容と合致するものを、次の選択肢の中から二つを選び、その番号を答えなさい。

- 1 デイズニーの『白雪姫』は、古くから語り継がれるドイツのおとぎ話の原作を大きく改変したことが批判された
- 2 「奴隷を使わない家事」を主張する立場からすると、小人や動物を使役する白雪姫の人物像は批判の対象となる
- 3 デイズニーの『白雪姫』には、人間と動物との分離と調和という二つの視点が、歴史的背景を踏まえ描かれている
- 4 「人類学機械」による「人間／動物」という対比では、デイズニーの『白雪姫』における小人と動物は区別される
- 5 デイズニー映画の中の白雪姫は、一九世紀半ば以降のアメリカの社会的・文化的変遷を体現するような存在であった
- 6 古くから存在したヨーロッパの民話としての『白雪姫』には、デイズニー作品より「自然」が多く描かれている

## 二

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

20世紀アメリカ建築界の巨匠のひとりにフィリップ・ジョンソンがいます。ニューヨークに赴任したり、旅行した人なら、彼の代表作を見ているでしょう。A T & Tビルがそれです。この建物は、ソニー・ビルに名称が変わり、今もマンハッタン島に建っています。上層部が、<sup>注</sup> チッペンデル家具を思わせる形状でデザインされた、いわゆるポスト・モダン建築です。

フィリップ・ジョンソンは一方で、装飾を一切排除した鉄とガラスによるモダニズム建築を設計したこともありました。ヒューストンのダウンタウンには、彼の設計した石油関連企業ペンゾイルの社屋ペンゾイル・プレイスト、やはり彼が設計したバンク・オブ・アメリカ・センター（旧リパブリック・バンク・センター）が建っています。前者は全面ガラス張りの2トウが対になって建つツイン・ビル、後者は17世紀オランダ商人の住宅を連想させる屋根のデザインが **I** なビルです。2つの建物は、一見して、同じ建築家の手に<sup>(i)</sup> 抛るものとは思えません。

フィリップ・ジョンソンは、彼個人の様式を確立することに関心を持ちませんでした。彼は常に作風を変える自由を謳歌しました。彼の代表作を<sup>(イ)</sup> ガイカンすると、そのあまりの多様さに、<sup>A</sup> 不統一感さえ覚えるでしょう。建築家としての「セツソウの無さ」を嘆く人もいます。しかし、ジョンソンは彼の建築に向けられたそうした反応に対して、「わたしはカメレオン。いつでも変わってみせる」と言っていたの였습니다。木の枝の上にいるときには枝の色に、葉の上にいるときには葉の色に染まるカメレオン。ジョンソンのこのことは、ただ単に自分の作風が多様に変化することを **II** に説明したわけではありません。

それは、異なる敷地に異なる目的を持って、異なるクライアントのために設計される建築物は、個々のケースにしたがって異なる形、空間として実現されるべきである、という建築芸術の本質を<sup>(あ)</sup> 言い当てています。

建築にも表情があります。異なる敷地に、異なる用途のために建てられる建築物が、趣を異にしていなければ、それはむしろ異様な事態と言うべきでしょう。しかし、この本来異様なはずの事態が、現代にはしばしば起きています。建築家が自分の作品であることを世に知らしめたがために、<sup>(ウ)</sup> 同時代の建築家の作品との差別化を意識的に<sup>(エ)</sup> 図って、同じスタイル・個人様式

で多種多様な建築を設計しているのです。《 a 》

自分の作品であることを世に知らしめたいという建築家のエゴによって生み出された建築は、「澄ました表情で描かれた肖像画」に喩えることができます。そこには、描かれた人物本人の本当の感情や性格、人となりの表出が見えませんが、露わにされるのは、描かれた人物の真の姿ではなく、描き手である画家の技量、洗練された構図の採り方、そして巧みな筆さばきです。ここで建築の世界から少し離れて、18世紀後半のイギリスで活躍した著名な肖像画家ジョシュア・レノルズについてお話ししましょう。

レノルズは、1723年、プリマス近郊のプリムトンに生まれました。当初は薬剤師になるための修業に出される予定でしたが、幼少からの画才が周囲に認められ、1740年、18歳の時に肖像画家トマス・ハドソンの弟子になりました。ハドソンの下で約4年間におよぶ修業を経て、彼は画家として独立し、ロンドンとデヴォン州を中心に肖像画を描きながら生計を立てるようになりました。《 b 》その後、1749年の初夏から1752年の秋にかけて、レノルズは南ヨーロッパを訪れ、ローマを中心にルネサンスの巨匠たちの傑作を学びました。そして帰国してからロンドンを拠点に新進気鋭の肖像画家としてその才能を開花させるようになりました。

レノルズは、ミケランジェロやレンブラントの影響を顕著に示す作風を確立し、旺盛な経済活動によって財を築いた新興富裕層の支持を得て、徐々にイギリス画壇で頭角を現しました。彼は肖像画家としての制作活動の一方で、生涯を通じてイギリスの次世代の芸術家を育成することにも情熱を注ぎました。1755年にはデイレクタンティ協会との間でイギリスに美術アカデミーを創設する意義について話し合いをはじめ、1768年12月にロイヤル・アカデミーが創設されると、その初代院長にシユウニンしています。

レノルズはミケランジェロをはじめとするイタリア・ルネサンス芸術の巨匠たちによる歴史画や宗教画を学ぶことに熱心でしたが、彼自身は常に徹底して同時代に実在した人びとの姿を描いた一流の肖像画家でした。《 c 》彼が得意としたのは、描写対象である実在の人物の個性を示す「顕著な性格」の描写を注意深く排除し、ルネサンスの歴史画や宗教画に通じる普遍

性を表現することでした。

レノルズの考えでは、一般論として肖像画の対象となる人物の個性的な特徴は、すべてではないにしろ、欠点でしかなく、もっとも完全な美を完璧な状態で表現するためには、人間の喜怒哀楽を表現することは好ましいことではありませんでした。レノルズは、激しい表情や感情の表明を嫌い、落ち着いた気品に満ちた趣と「抑制された表情」で人物を描くことを提唱したのです。レノルズにとって、そうした肖像画の描き方こそが、彼が理想とする芸術のあり方であり、彼の名声を支えたスタイル、〈個人様式〉だったのです。実際、彼に肖像画の制作を依頼した新興富裕層や貴族たちは、壮麗な歴史画のように描かれた自分たちの肖像を好みました。レノルズの〈個人様式〉は、当時のパトロンの趣向に合致していたのです。

こうしたレノルズの考え方と〈個人様式〉に強く反発したのは、ウィリアム・ブレイクでした。ブレイクは「特有の特徴こそ唯一の美点」であり、「激情と表情は美そのものである」と主張しています。

レノルズが個々の人物の「特有の特徴」や「喜怒哀楽」、「顕著な性格」を表現することなしに描いた肖像画はどれもパトロンの間では受けが良く、絵画作品としても優れているとみなされたのですが、実のところそうした評価はレノルズの技量と筆さばきに焦点を当ててのことでした。《d》しかし他方でそうした作品は、肖像画に描かれた人びとの個性や感情、生き様と性格を映し出してはいません。

自己顕示欲を満たすために建築家が設計し実現した建築物は、レノルズが描いた「澄まし顔」の肖像画の、「喜怒哀楽」や「顕著な性格」を排除した余所行き、表情描写に通じる面があるように思われます。そのようにして実現された建築物はどれも美しく、人びとの視線を釘付けにすることはできるのですが、その趣旨は作者である建築家の技量の誇示であって、個々の建築物が必要とされている特有の事情や理由を映し出してはいないのではないのでしょうか。

本来、優れた建築物とは、建築家の個性ではなく、個々の建築物の個性、すなわちブレイクのことを借りれば、「特有の特徴」と「表情」が率直に表明された姿で建ち現れるべきではないでしょうか。そしてそうした建築物を実現するために、建築家の過剰な自己顕示の表明を「善し」としない、もっと強く言えば「許さない」風潮が、まずわたしたち鑑賞者の中に実現

されなければなりません。ここでもやはり、問題は鑑賞者であるわたしたちに投げかけられています。著名な現代建築家の贅を尽くした建築デザインをただ鑑賞するのでなく、それが建築家自身の個人的記念碑になっていないか、本当にその建築物の立地と用途に相応しい形と空間が実現されているか、わたしたちは見極める必要があります。

ある総合大学の芸術系学部で実際にあつた話です。某予備校がその大学の各学部に対して、「貴学部の卒業生は、いつ社会の第一線で活躍することになりますか」という趣旨のアンケートを送ってきたそうです。医学系の学部はこの質問に、「本学部の学生は卒業と同時に我が国の医療の第一線で活躍する」と回答し、スポーツ系の学部は「今、彼らは第一線に立っている」と答えたそうです。複数のオリンピック代表選手が在学していたからでしょう。そして当の芸術系学部は、「死後10年。もし幸運なら……」と回答したという話です。「死後10年。もし幸運なら……」という回答が本当になされたとしたら、それはわたしたちが今日巨匠として讃える多くの芸術家たちの生涯を的確に言い表していると思われまます。

歴史上の偉大な芸術創造者たち、とりわけルネサンス以前の時代に大聖堂の建設や宗教絵画の制作に従事した人びとは、自分たちの名前が同時代の人びとから讃えられることに何の価値も見出していませんでした。《 e 》彼らは自分たちの〈個人様式〉によって社会の注目を集めることに関心はなかつたのです。彼らは、個々の作品の制作に、自分たちの持ち得る技量のすべてを投入し、情熱的に取り組みました。そしてそうして生み出された作品の数々は、X 鑑賞され、讃えられたのです。

有名建築家を礼讃する傾向は、建築家の自己顕示欲をますます強くさせるだけでなく、一部の有名建築家の高慢と過信を生み出す危険性もはらんでいます。

周囲から一目置かれるようになった建築家たちは、自分たちは「建築とは何か」、「建築とはどのようなように用いられるべきか」を教示することができる資格と能力を持っていると錯覚することになりました。他者の生活の営みのための空間を提案する代わりに、他者に特定の生活様式を強いる建築を設計するようになった建築家は、決して少なくありません。社会からもてはやされることで、建築家たちの

### Ⅲ

名声欲と自己顕示欲が満たされ、遂には彼らの中に高慢と過信が生じた場合もある

のです。

メディアなどで頻繁に取り上げられる一部の有名建築家たちの作品を無批判に、「優れたデザイン」として評価する現代の建築鑑賞の危険性が見えてきます。それは実は単なる自己顕示欲の露骨な表明の産物であるかもしれません。優れた建築物はどうあるべきか。——それは、建築を鑑賞したいと願うわたしたち建築鑑賞者に投げかけられた問題でもあるのです。

(近藤存志『光と影で見る近代建築』による。出題の都合上、一部省略・改変した箇所がある。)

注 チップペンデル家具——十八世紀中頃のイギリスの家具様式。

問一 傍線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字に改めた場合、それと同じ漢字を含む選択肢を次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- (ア) 2 トウ
- 1 トウジヨウ人物
  - 2 馬耳トウフウ
  - 3 イットウ兩斷
  - 4 汗牛ジュウトウ
  - 5 用意シュウトウ

(イ) ガイカン

- 1 キガイのある新入部員
- 2 経済成長のソガイ要因
- 3 候補者のガイトウ演説
- 4 発生のガイゼン性が高い
- 5 世情を深くガイタンする

(ウ) セツソウ

- 1 ほんのセツナの出来事
- 2 セツレツな文章を恥じる
- 3 友好国に親善シセツを送る
- 4 他人の金品をセツシユする
- 5 セツチュウ案を提示する

(エ) シュウニン

- 1 歌舞伎のシュウメイ披露式
- 2 極めてシュウイツな絵画作品
- 3 戦乱が治まりシュウビを開く
- 4 キョシュウについて結論を出す
- 5 非難のオウシュウに嫌気がさす

問二 傍線部 (i) (ii) (iii) の語の読み方として最も適切なものを次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

(i) 抛る

1 なる

2 あまる

3 かける

4 よる

5 する

(ii) 相応しい

1 ゆかしい

2 ふさわしい

3 ちかしい

4 このましい

5 のぞましい

(iii) 讃える

1 さかえる

2 かかえる

3 たとえる

4 むかえる

5 たたえる

問三 傍線部(あ)・(い)とほぼ同じ意味の語句として最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

(あ) 本質を言い当て

- 1 顰に倣う
- 2 一葉落ちて天下の秋を知る
- 3 正鵠を射る
- 4 軌を一にする
- 5 一言を以てこれを蔽う

(い) 生計を立てる

- 1 手を尽くす
- 2 駑馬にむちうつ
- 3 腹を据える
- 4 冷や飯を食う
- 5 糊口をしのご

問四 空欄

I

く

III

に入る語として最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。なお、一つの語は一回しか用いてはならない。

- |   |     |   |     |   |     |   |     |    |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|----|-----|
| 1 | 自虐的 | 2 | 画一的 | 3 | 客観的 | 4 | 現世的 | 5  | 感情的 |
| 6 | 暫定的 | 7 | 印象的 | 8 | 局地的 | 9 | 街学的 | 10 | 一元的 |

問五 本文中の《 a 》《 》《 e 》のうち、次の一文を入れる箇所として最も適当なものを後の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

それらは確かに美しく、気品に満ちていて、人びとの視線を釘付けにします。

- 1 《 a 》      2 《 b 》      3 《 c 》      4 《 d 》      5 《 e 》

問六 傍線部 A 不統一感さえ覚える とあるが、なぜこのような感覚が生じると筆者は考えているか。その理由の説明として最も適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 建築芸術の本質を個人様式の確立にあると考える人からすれば、建築家としての向上心のなさのようなものが感じられてしまうから
- 2 全ての建築家は、ジョンソンのようにどのような建築物を建てるのかについてクライアントの意向を吟味すべきだと考えているから
- 3 建築家が自身の個人様式を優先するあまり、個々の建築物が本来備えているべき独自性が失われていることが通常化しているから
- 4 同時代の建築家の作品と異なるものを作りたいたいという意識が強すぎて、ジョンソンは余りにも多種多様な建築物を残してきたから
- 5 個人様式の確立を否定し、自分の作品を認知してもらうための手法として作風を変化させていくことを選択した建築家の作品群だから

問七 傍線部 B 18世紀後半のイギリスで活躍した著名な肖像画家ジョシユア・レノルズとあるが、何のために筆者はこの肖像画家のエピソードを述べているのか。その説明として最も適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 現代建築界に起きている事態が異様であることを、問題の性質が通底する他の芸術分野の事例によって強調するため
- 2 異様な事態が歴史的に繰り返される芸術界は、その事態に抗する人物によって発展的に進歩してきたことを示すため
- 3 自分自身の技量を誇示する魅力に取りつかれ芸術の本質を見失ってしまうことは、誰にでも起こり得ると伝えるため
- 4 クライアントやパトロンなどの出資者の意向に沿うことが、芸術家の自己顕示欲の充足よりも重要だと主張するため
- 5 肖像画と建築はいずれも、本質的には作品の作り手自身の自己顕示欲を満たすための芸術であることを証明するため

問八

空欄

X

に入る表現として最も適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「後世には評価されるかもしれない」といった程度の評価のもと
- 2 「建築家の個性がどのように消去されているか」という芸術的視点から
- 3 「歴史的にどう評価されるのか」という興味を喚起させないまま
- 4 「誰の、どれほどの技量が注ぎこまれているのか」という総合的観点から
- 5 「誰の手に拠るものであるか」という現代的関心とは一切無関係に

問九 本文の内容と合致するものを、次の選択肢の中から二つを選び、その番号を答えなさい。

- 1 フィリップ・ジョンソンの作品には、建築物にはいかなる場所にも適合する普遍的な装飾や建材があるという彼の信念がよく表れている
- 2 ジョシユア・レノルズの確立した〈個人様式〉はパトロンの要求にも合致していたので、彼の自己顕示欲は現代建築家ほど深刻なものではない
- 3 建築作品を見ればそれを手掛けた建築家が誰であるのかがわかるという現代の状況は、建築芸術の本質という観点からすると異様なものである
- 4 「死後10年。……」という言葉には、存命中に評価されなくてもよいという健全な諦観を備えた建築家の育成がなされていることが示されている
- 5 建築家の〈個人様式〉に沿った建築物が多く建てられている現代の状況は、建築家自身の問題ばかりとは言えず、建築鑑賞者側の問題でもある
- 6 肖像画と同様に、建築物にもその建築物が必要とされる事情や理由以上に、建築家や建築物を所有する人の個性や感情などが反映されるべきである



# 国語解答用紙

3日



問一	(ア)	① ● ③ ④ ⑤	(イ)	① ② ● ④ ⑤	(ウ)	① ② ③ ● ⑤	(エ)	● ② ③ ④ ⑤
----	-----	-----------------------	-----	-----------------------	-----	-----------------------	-----	-----------------------

問二	(I)	① ② ③ ④ ⑤ ● ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	(II)	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	(III)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩
----	-----	--	------	--	-------	--

問三	① ② ③ ● ⑤	問四	● ② ③ ④ ⑤	問五	X ① ② ③ ④ ● Y ● ② ③ ④ ⑤
----	-----------------------	----	-----------------------	----	--

問六	① ● ③ ④ ⑤	問七	① ● ③ ④ ⑤	問八	① ② ● ④ ● ⑥
----	-----------------------	----	-----------------------	----	----------------------------

問一	(ア)	① ② ③ ● ⑤	(イ)	● ② ③ ④ ⑤	(ウ)	① ② ④ ⑤	(エ)	① ② ③ ● ⑤
----	-----	-----------------------	-----	-----------------------	-----	------------------	-----	-----------------------

問二	(i)	① ② ③ ● ⑤	(ii)	① ● ③ ④ ⑤	(iii)	① ② ③ ④ ●
----	-----	-----------------------	------	-----------------------	-------	-----------------------

問三	(あ)	① ② ● ④ ⑤	(い)	① ② ③ ④ ●
----	-----	-----------------------	-----	-----------------------

問四	I	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ● ⑧ ⑨ ⑩	II	● ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	III	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
----	---	--	----	--	-----	--

問五	① ② ③ ● ⑤	問六	① ② ● ④ ⑤	問七	● ② ③ ④ ⑤
----	-----------------------	----	-----------------------	----	-----------------------

問八	① ② ③ ④ ●	問九	① ② ● ④ ● ⑥
----	-----------------------	----	----------------------------

50点

50点